

学年	高校3年	教科	英語	科目	英語演習	単位数	2
教科書名				副教材名	RANDOM CHALLENGE 600 Advanced (いいずな書店)		
コース・クラス		N進理系					

## 1. 目標

英文法・語法に関する問題を中心に実践的な出題形式と難易度の問題に取り組み、基礎学力到達度テストに対応できる実力の養成を目標とする。

## 2. 授業のねらい

- ・ 基礎学力到達度テストや大学入試問題同様、文法項目がランダムに配された形式かつ難易度の実践的なテスト形式の問題に、時間を意識しながら解答することに慣れる。
- ・ 生徒の理解や知識の定着の度合いに応じて英文法・語法の基本的事項をおさえ、各問題を解く際に必要なポイントを中心に学習する。
- ・ イディオム、会話表現、語彙に関して基礎学力到達度テストや大学入試問題で問われる表現の知識を増やし、繰り返しを通して定着を目指す。
- ・ 自分の苦手な文法項目や出題形式を把握し、そこを中心に復習させることで弱点をつぶして実力を伸ばす。

## 3. 授業の進め方

- (1) 各回、実際の入試過去問題からさまざまな出題形式（四択、正誤指摘、整序英作文など）で構成される40問に、時間を計測しながら一通り解答する。
- (2) 生徒の理解や知識の定着の度合いに応じて、基本的な英文法・語法を確認しながら、各問題を解く際に必要なポイントを重点的に解説する。  
特に基礎学力到達度テストや入試問題には、ひとつの問題の中に英文法・語法、語彙・表現などから複数のポイントが問われる難易度の高い問題が含まれるので、何が問われているのかを見抜けるようにしていく。
- (3) 副教材の付録「弱点発見シート」を活用し、各文法項目の正答率から自分の苦手な部分を知り、復習に役立て、弱点を克服して各自の実力を伸ばす。
- (4) 定期試験、定期的な小テスト、課題配布を行い、繰り返し復習の機会をもうけることで知識や理解の定着を図る。

## 4. 学習上の留意点

- ・ 問題集（指定の副教材）、問題集用ノートを忘れない。
- ・ 定期試験の返却後、間違えた問題を確認し、復習を必ず行うこと。
- ・ 提出物の期限は必ず守ること。

## 5. 定期試験

定期試験の範囲（予定） 使用する問題集にもとづいて出題する。

- 1学期 中間試験 : 問題集 第1回～第4回、 初見実力問題
- 1学期 期末試験 : 問題集 第5回～第8回、 初見実力問題
- 2学期 中間試験 : 問題集 第9回～第11回、 初見実力問題
- 2学期 期末試験 : 問題集 第12回～第15回、 初見実力問題

## 6. 評価方法

定期試験、小テスト、提出物の提出状況と内容、授業の取り組み方などから総合的に評価する。

7. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	問題集(p.4～p.17) 第1回～第4回	定期試験 小テスト 提出物	<ul style="list-style-type: none"> <li>文法項目順ではなく、実践的なランダム形式かつ難易度の問題に制限時間内で解答することに慣れる。</li> <li>四択問題や正誤問題において正しく解答するために注意すべき各文法項目の基本事項や重要事項、問われているポイントを理解する。</li> <li>同義語句の選択または記述問題では、頻出の語彙や語法の使い方が分かるようになり、確実に定着させる。</li> <li>整序問題は、対応させる和訳と英語表現との表現方法の違いにも気づきながら、英文法・語法、語彙などの総合的な実力を運用して解答していく力を付ける。</li> <li>解答後、間違えた問題や知らなかった語彙や表現、文法事項について復習をし、知識や理解を定着させて次回は正答できるようになる。</li> </ul>
	5			
	6	問題集(p.18～p.35) 第5回～第8回		
	7			
二学期	9	問題集(p.36～p.47) 第9回～第11回	定期試験 小テスト 提出物	<ul style="list-style-type: none"> <li>英文法・語法問題で問われているポイントを見抜いて、解答できるようになる。</li> <li>四択問題や正誤問題において正しく解答するために注意すべき各文法項目の基本事項や重要事項、問われているポイントを理解する。</li> <li>同義語句の選択または記述問題では、頻出の語彙や語法の使い方が分かるようになり、確実に定着させる。</li> <li>整序問題は、対応させる和訳と英語表現との表現方法の違いにも気づきながら、英文法・語法、語彙などの総合的な実力を運用して解答していく力を付ける。</li> <li>解答後、間違えた問題や知らなかった語彙や表現、文法事項について復習をし、知識や理解を定着させて次回は正答できるようになる。</li> </ul>
	10			
	11	問題集(p.48～p.63) 第12回～第15回		
	12			
三学期	1			
	2			
	3			

※ シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により変更することもあります。